



奨励賞



松前神楽の舞を披露する継承者の二人

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体 福島町千軒地域活性化実行委員会 【福島町】

未来に引き継ごう伝統芸能



はじめは？

かつて林業や炭焼きが盛んで人口500人を擁し賑わった千軒地域は、林業の衰退や青函トンネルの工事終了などによる過疎化に伴う国鉄駅の廃止、小中学校の閉校などが重なり、現在人口約70人となり高齢化が深刻な状況です。

この集落と農林業を再び活性化すべく、福島町が平成18年「千軒地域活性化構想図」を作成。自然・歴史・伝統文化・食を核として地域資源を保全活用することで、地域の活性化を実現し、広域的な観光資源と連携し、地域経済に発展的波及効果をもたらすことを目的として、活動を開始しました。

おもな活動

毎年春・秋に、松前藩主が通った松前～函館旧街道を活用し「殿様街道探訪ウォーク」として、林間の自然・史跡巡りのガイド付ツアーを実施しています。

毎年8月下旬には「千軒そばの花鑑賞会」として、「千軒そばの会」貸借のそば畑にて、そばの花の景観の中、福島町松前神楽保存会が神楽継承者である町内小中学生による松前神楽(国指定重要無形民俗文化財)を奏上しています。

松前観光協会等と連携し、新そば祭りをマグロ祭り等と同時開催しています。



新そば祭りの一コマ →

ここが自慢

「殿様街道ウォーク」は、キャンセル待ちも出る人気イベントに育っており、渡島総合振興局西部森林管理室が当地域の「ブナの森100年観察林」を案内しています。昼食時には地場産十割そばを提供。原料のそばの実は、廃校舎を利用し自然乾燥させたもので、こしや歯ごたえが良く味わい深く人気です。

「千軒そばの花鑑賞会」は、「千軒そばの会」と連携し当会が貸借するそば畑の花の景観を背景に、国指定重要無形民俗文化財である農山漁村伝統芸能「松前神楽」を奏上。当神楽は、福島町松前神楽保存会が福島大神宮宮司より舞や芸能を学び、農村伝統神楽を町内小中学生が伝承しています。

また、当鑑賞会では打ちたて十割千軒そばの他、当地産のバレイショ収穫体験・いも塩辛提供を行っています。当鑑賞会は報道等で全道に知られるようになり、函館管内以外からも集客がある人気イベントです。



十割千軒そば

連絡先

代表者名 : 佐藤 孝男 さん / 設立 : 2006年 / 会員 : 15名

住 所 : 松前郡福島町字三岳32-3
社会福祉法人福島町社会福祉協議会 金谷事務局長

電話 番 号 : 0139 - 47 - 2284

F A X : 0139 - 47 - 5081

E - m a i l : f-fukusi@atlas.plala.or.jp

U R L :